

### 3 歳出

#### (1) 目的別決算の状況

目的別の主な増減は、償還が進んだことで公債費が20.7パーセントの減少、商工費も緊急雇用創出事業の縮小で28.2パーセントの減少となりましたが、教育費で学校給食センターの整備や小中学校の天井落下防止対策工事の実施により32.9パーセントの増加、災害復旧費が災害の多発により410.7パーセントの増加、農林水産業費がため池点検や改修工事等により32.4パーセントの増加、民生費も臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の交付等により8.2パーセント増加するなど、多くの増加要因が重なったため、歳出総額では8.8パーセントの増加となりました。

歳出目的別決算額一覧表

(単位：円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		増減額 (A) - (B)	増減率
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比		
1 議会費	158,624,258	1.6	149,628,509	1.6	8,995,749	6.0
2 総務費	1,386,418,611	13.8	1,336,698,488	14.5	49,720,123	3.7
3 民生費	2,687,617,529	26.7	2,484,054,384	26.9	203,563,145	8.2
4 衛生費	1,026,116,898	10.2	1,021,682,215	11.0	4,434,683	0.4
5 農林水産業費	205,767,024	2.0	155,389,359	1.7	50,377,665	32.4
6 商工費	45,649,253	0.5	63,588,856	0.7	△ 17,939,603	△ 28.2
7 土木費	1,059,059,257	10.5	1,006,451,879	10.9	52,607,378	5.2
8 消防費	533,956,663	5.3	487,131,065	5.3	46,825,598	9.6
9 教育費	2,052,020,178	20.4	1,543,486,444	16.7	508,533,734	32.9
10 災害復旧費	127,154,741	1.3	24,898,029	0.3	102,256,712	410.7
11 公債費	713,484,426	7.1	899,448,686	9.7	△ 185,964,260	△ 20.7
12 諸支出金	59,221,826	0.6	66,264,910	0.7	△ 7,043,084	△ 10.6
13 予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	10,055,090,664	100.0	9,238,722,824	100.0	816,367,840	8.8

目的別構成状況

